



脇町ロータリークラブ

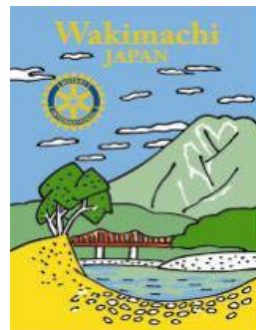
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2021年 2月 25日 木曜日

第31回例会 No.2745

会員総数: 39名 出席率: 71.8 %



◎会長挨拶

白川会長 皆さんこんにちは。今朝は冷え込みましたが、昼間は暖かい良いお天気となりました。山寺の静かなお堂で息を凝らしていますと遠くでウグイスが今はまだ小さな声で短く泣いています。春はもうすぐそこです。

2月23日は語呂合わせで富士山の日だそうです。その日に合わせてトヨタ自動車が静岡県裾野市で計画する「未来の街」「ウーブン・シティ」の建設に着手したそうです。実際に人を住まわせて自動運転をはじめとする人工知能(AI)を活用し、当初は70万平方メートルに360人で始めて、高齢者や子育て世代の生活にいかなる課題が生じるかを研究し、社会の課題を洗い出すという計画らしいです。

話は変わりますが、昨日脇町ロータリークラブ会長として美馬市社会福祉協議会による美馬市ボランティア活動センター運営委員会に出席致しました。その中で、委員長の青木美智子様から「これからはちょっとしたボランティア活動」「ちょいボラ」が大切ですよ。とお話があり、私自身「ボランティア」について今一度考えてみました。

わが町つるぎ町は過疎まっしぐらで、限界集落がたくさんあります。私は昭和35年生まれですが、子供の頃は集落に活気がありました。そして、すべてのことを集落の人々でまかしていました。手伝い合い、助け合い、今で言うところの「ボランティア」は日常あたりまえの事でした。それ故に、あまりにも他に干渉し過ぎる難点も確かにありました。

そこで、先程の「ウーブン・シティ」と「限界集落」で何が違うか考えてみました。自動運転と(AI)によるインフラと「ちょいボラ」があれば両方とも成り立つのではないかと思います。そして、双方に必要なのが「感謝」と「喜び」ではないでしょうか。ちょっと難しい話になりましたね。本日も宜しく願い申し上げます。

◎幹事報告

古田幹事 到着週報

- 鴨島RC、阿波池田RC 各RCより
- 洲本RC 臨時クラブ会報、第1号、第2号 ZOOM例会 vol. 24, 25, 26

到着書類

- ガバナー事務所より地区大会本会議についての質問の案内
- 2020-2021年度 徳島第1第2分区合同IM中止の案内
- 国際ロータリー第2670地区2022-2023年度ガバナー候補者決定宣言書
- 美馬つるぎ糖尿病対策をすすめる会より糖尿病在宅療養者支援計画書の提出のお礼 5月卓話依頼
- 国際ロータリー日本事務局より第3回クラブ地区支援室メッセージ
- ロータリーの友 3月号

◎卓話

南善幸会員

皆さんこんにちは。久しぶりにご指名いただきまして大変うれしく思います。今日は過疎についてお話ししたいと思います。よく過疎という言葉は耳にしますが、実態はどうなっているか、皆さんよくわからないと思います。私はその過疎の八千代地区に生まれ育ちました。当時は小学校が6校、中学校が1校ありました。今はすべて休校になっています。私は小学校通学に山道を歩き30分かかりました。ちなみに古田幹事は2分で行けました。過疎地の実態ですが、集落が最終的にはなくなりま

す。まず人がいなくなると家が倒壊していきます。そして動物の鹿、猪、猿などが出てきて荒れ放題になります。過疎によって山間部の農業もなくなりました。養蚕のための桑畑、麦、雑穀類、たばこ、などです。しかし私が最近とても嬉しかったのは、六車さんが山間部での米作りをしていることです。山田で作った米は粘りがあってとてもおいしいので、私も分けてもらっています。収穫量は平地の温かいところの半分くらいしかないそうですが味は最高です。これからも頑張っけて続けて行ってもらいたいです。私は現在は脇町に住んでいますが、八千代に帰りますと昔はどこの家も子供や若い人がいましたが、今は年寄りしかいません。若い人のほとんどが町に出て行っています。過疎地区で年寄りが病気になったときどうするのか、買い物はどうするのか、いろいろな問題があります。そしていよいよ年寄りが生活できなくなると町の病院や施設に入ります。そうして人がいなくなっています。私の同級生の浜口さんも八千代で生まれ育っていますが浜口さんの住んでいた地区も人がいなくなっています。いかにしてこの集落を守るかということですが残念ながら非常に難しくなっているのが実情です。さてここから私の事業の話をしてします。私の作っている山の畑の農作物ですが、猿や鹿はどのように食い止めれるのですが、猪はネットや柵をしてもその下に穴を掘ってくるのでとても手強いです。作物づくりには3つの大切なものがあります。「一種」「二畑」「三手入れ」です。まづは健全な種が必要です。次に健全な畑、つまりたい肥を入れ耕し良い土作りをして様々な肥料などで畑の手入れをして管理していく、これらが大事になります。こうしてこんにやく芋を作っています。

これを脇町の工場で製品加工をしています。加工方法も3通りありまして、一つ目はおおど式で湯で溶いてそれを凝固させる方法です。二つ目は缶蒸製法で大きなステンレスの缶の中で蒸気湯で炊き上げる方法です。三つ目が生詰製法です。これは原料に凝固剤を入れ形にしたものを袋に入れてから炊き上げる方法です。そうすることで真空状態にもなり殺菌も出来ます。今はこの生詰製法が7割以上で主流になっています。

こんにやくはアルカリ食品ですしカロリーはゼロです。満腹感もあり健康食品やダイエット食品として注目されています。皆さんの嗜好も変わってきています。今まではいい商品の定義として「こしがある」「弾力がある」「歯ごたえがある」でしたが、最近は子供さんや女性から「のど越し」が加わりました。これからは個性のある商品を作って行き、お客様や消費者の皆様に愛される商品作りをしていきたいと思ひます。ご清聴ありがとうございました。

ひとりごと さすが脇町RCの重鎮、南善幸先輩の卓話でした。皆さんに優しく問いかけながら、説得力のある、落ち着いた話し方。過疎のお話、事業内容のお話、勉強させていただきました。これからも南町奉行として脇町RCへのご指導を宜しくお願い致します。

次回例会	2021年 3月 4日(木) 12:30より 四季料理 森友(お弁当) WEB会議 併用開催
卓話	外部卓話 大塚製薬(株) 桑原拓都様

☆次の会員は例会欠席でした。メイクアップして下さい。

新井会員、一井会員、上柿会員、木下会員、郷司会員、高田会員、友成会員、豊島会員
秦会員、藤村会員、吉野会員

☆次回例会の出欠を鉄野出席委員長まで連絡してください。